令和５年度（第16回）国土交通大臣賞〈循環のみち下水道賞〉

防災・減災部門

産学官連携マンホールトイレ設置運営マニュアル作成

東松島市

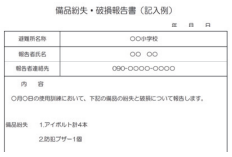
受賞事例の概要

これまで、お祭りや運動会において設置運営訓練を行ってきましたが、今後は防災訓練や発災時での自主運営を目指すため、市民に分かりやすいマニュアルを産学官連携により３編に編集し動画も作成しました。

「設置運営マニュアル」・「概要版」・「簡易版」

宮教大ゼミ生の協力による動画

巡回清掃日報・備品紛失破損報告書様式（記入例）



YouTube東松島市下水道チャンネル

組み立て方【約7分】　使い方【約5分】　片づけ方【約5分】

PRポイント！

マンホールトイレのマニュアルを、産【災害用トイレの関係企業】、学【宮城教育大学ゼミ生】、官【市役所下水道課】で連携し作成しました。マニュアルではトイレの設置撤去や運営の方法等、写真を多く取り入れ住民目線で分かりやすい内容を目指しました。マニュアルは本編以外に概要版、簡易版を作成し手軽に見ることができます。更に動画も作成しました。内容は「組み立て方」、「使い方」、「片づけ方」の構成とし QR コードをマンホールトイレ建屋内や備品庫等に掲示しています。

取組の効果！

動画を利用することで、運動会の使用訓練前の説明会が不要となり、各自視聴することで訓練当日の職員配置が最小限にでき負担の軽減になります。また、発災時でも視聴することで公助を必要としない地域住民による設置、運営が出来ることから、清潔で安心安全なトイレの維持運営が可能となります。今後は、市 HP や広報に掲載し、より多くの市民に視聴していただくことで、マンホールトイレへの理解啓発が進みます。

Key Person

建設部下水道課
下水道危機対策専門員
小田島　毅

マニュアル作成にあたり、市役所職員だけではなく、多角的に意見をまとめ作成することで、分かりやすく市民に寄り添ったマニュアルができるのではないかと考え、産学官連携による作成を目指しました。協力できる大学を検索したところ、宮城教育大学の防災に関する「311 ゼミナール」の学生たちの協力を得ることができ、さらに災害用トイレの販売等行っている企業にも協力いただき、マニュアル作成を進めました。ゼミ生の活動時間は基本的に昼休みに行われるため学校へ出向いての活動となり、取りまとめまでに１年半を要しました。これまでの本市の取組が評価され受賞したことに感謝申し上げます。